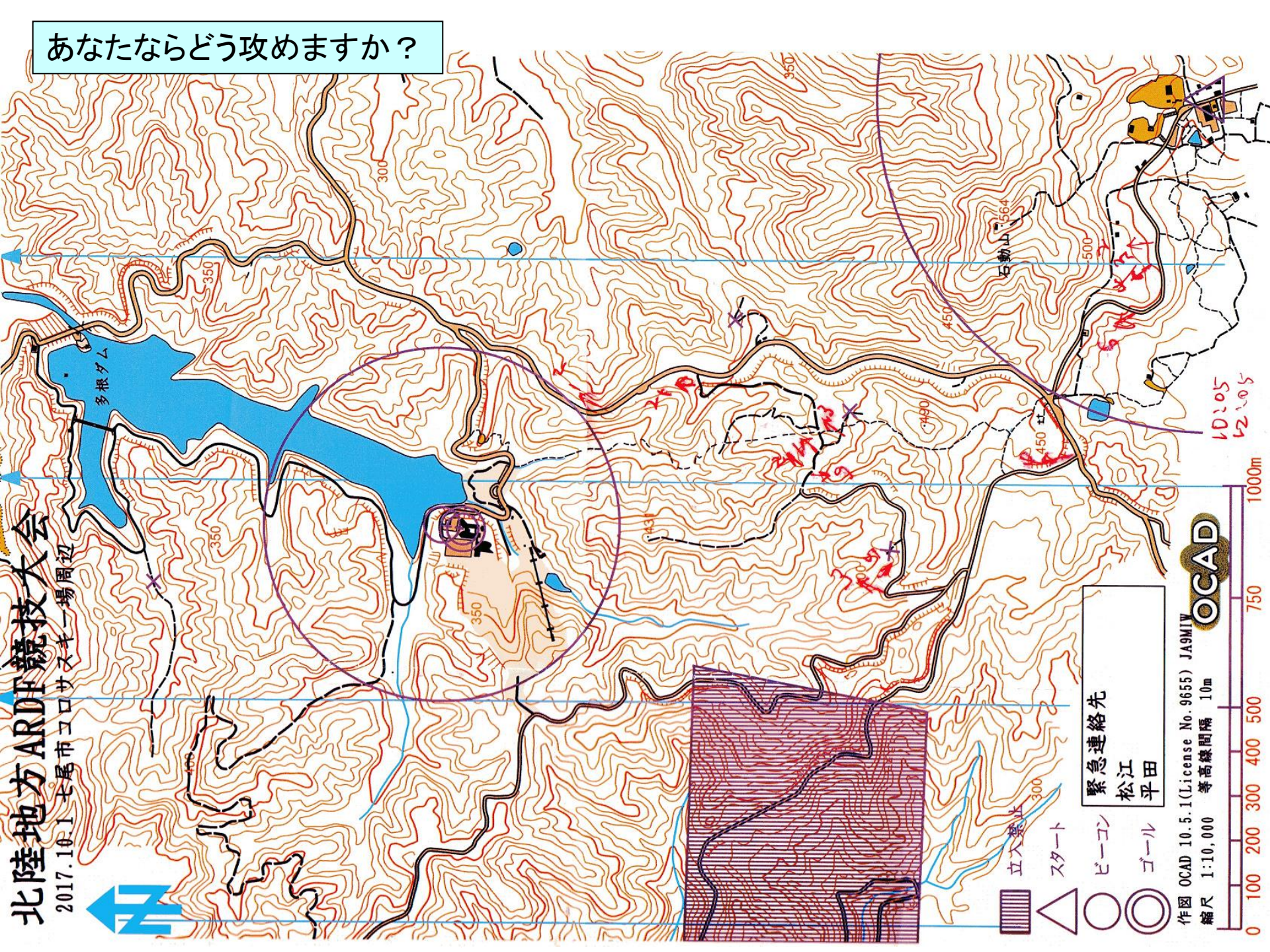
2017北陸大会（144MHz）での私の判断と行動

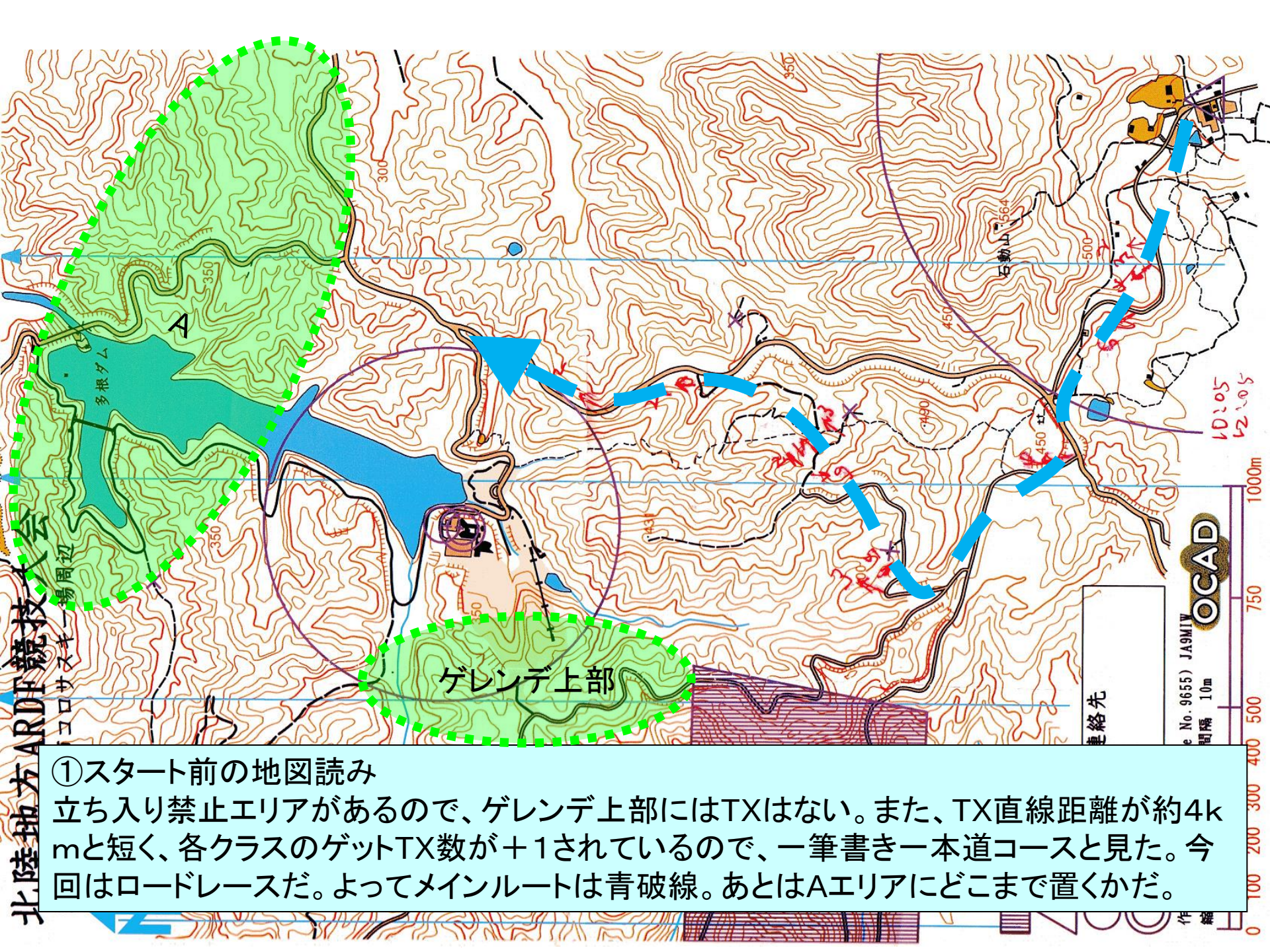
2017年10月1日（日）
於　石川県七尾市
コロサスキー場
安島　巧

初めに

　このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。
　従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。
　ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。

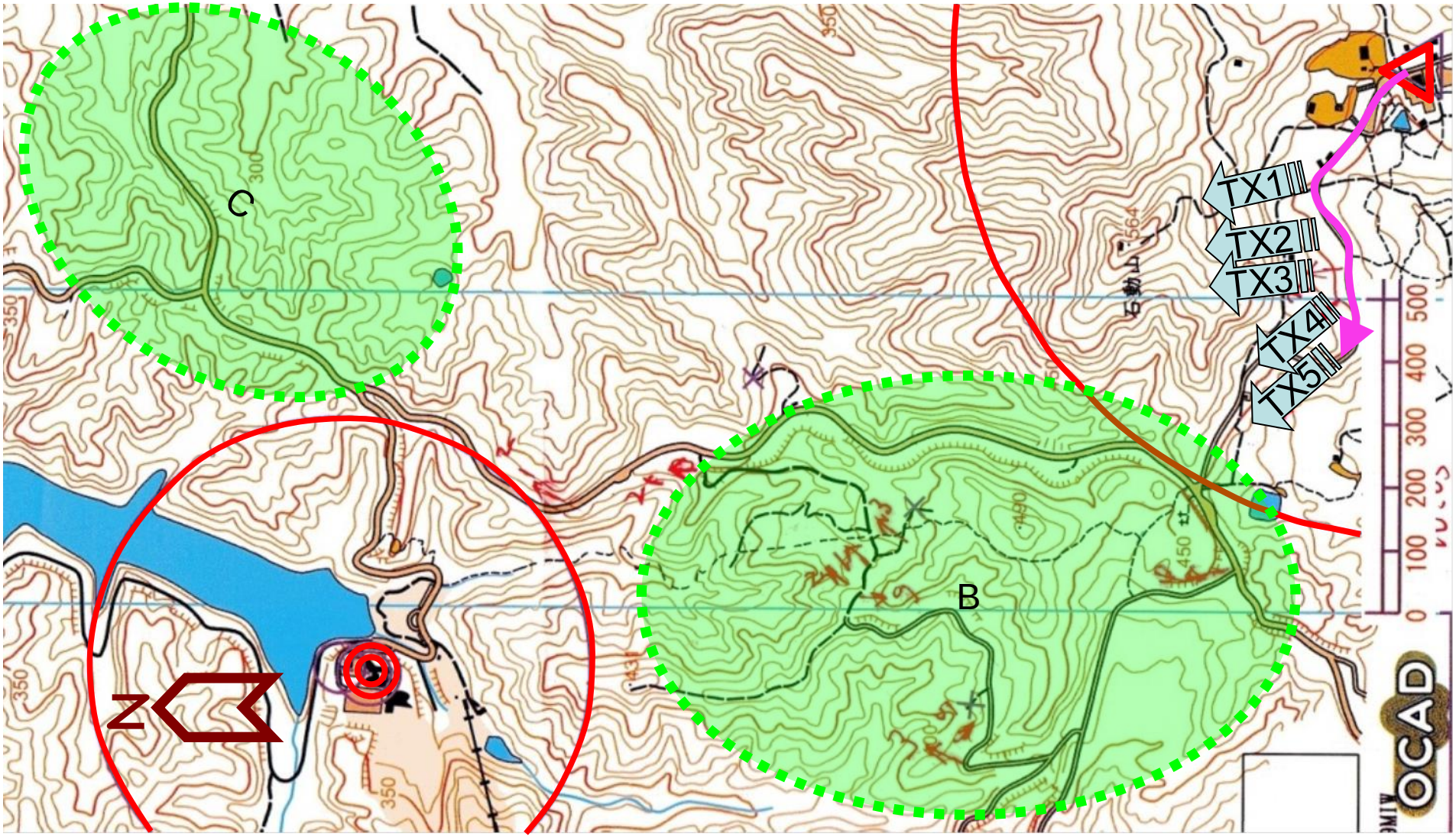
あなたならどう攻めますか？



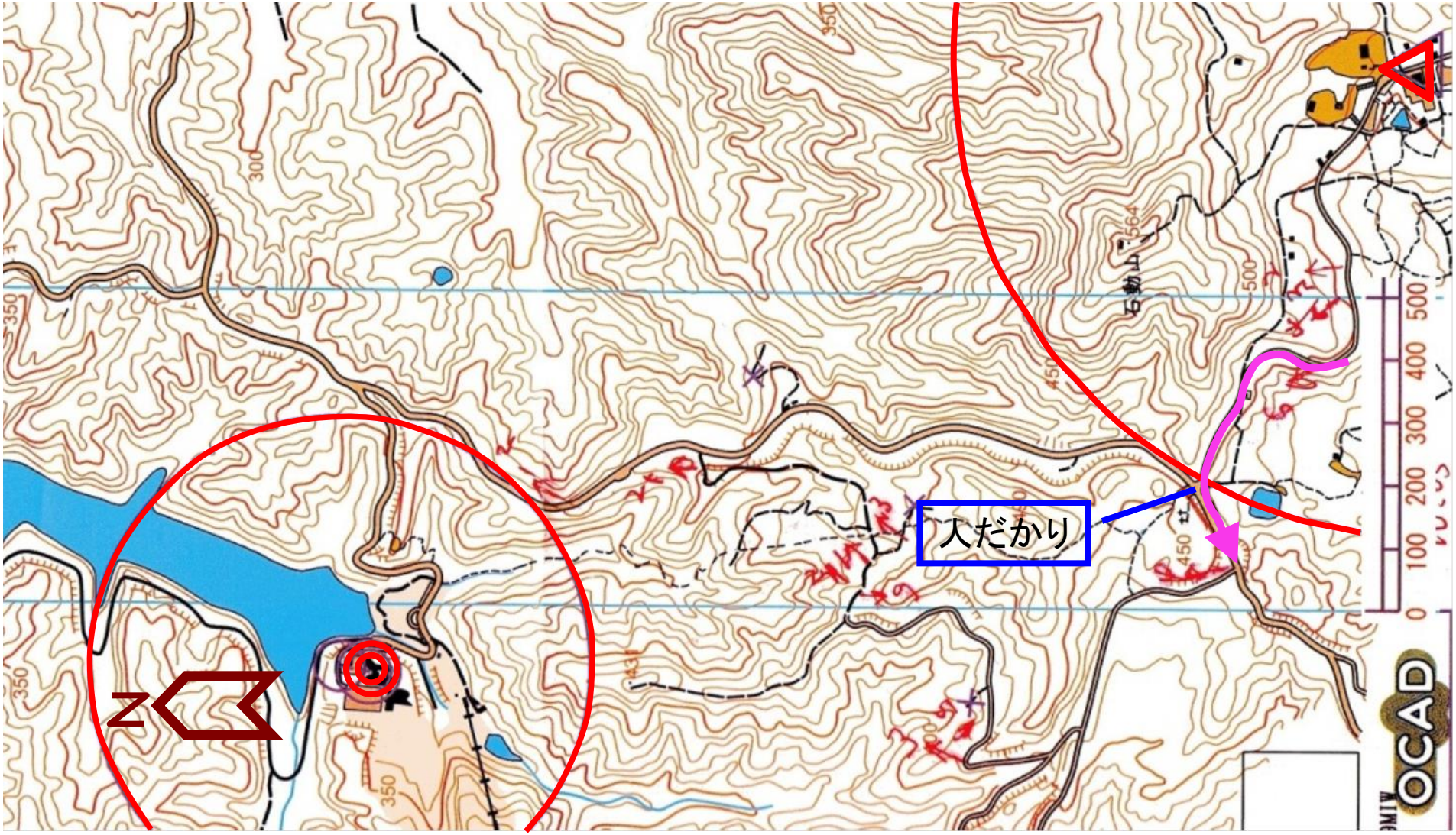


①スタート前の地図読み
立ち入り禁止エリアがあるので、ゲレンデ上部にはTXはない。また、TX直線距離が約4kmと短く、各クラスのゲットTX数が＋1されているので、一筆書き一本道コースと見た。今回はロードレースだ。よってメインルートは青破線。あとはAエリアにどこまで置くかだ。

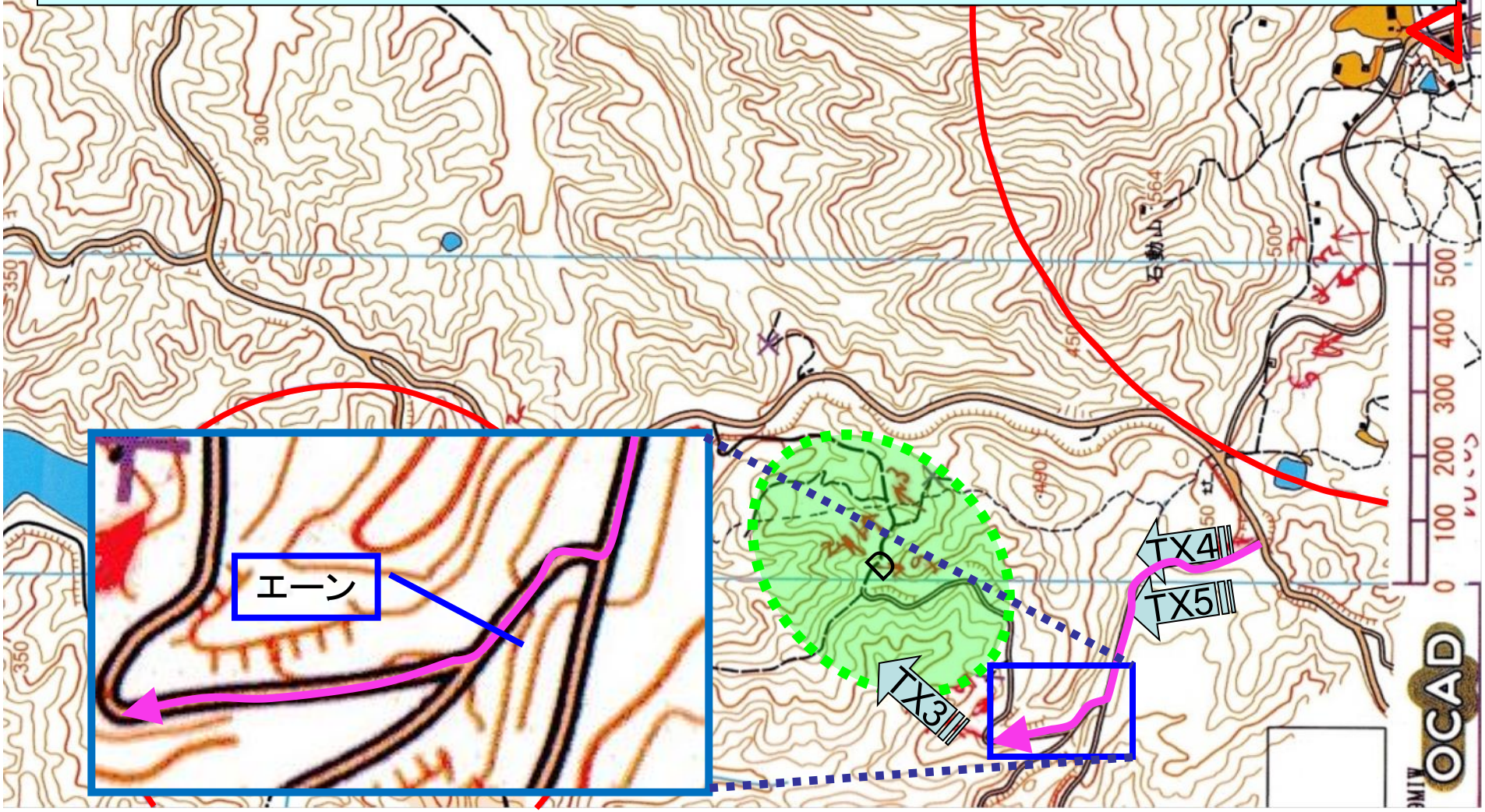
②探索開始地点
テレインの端なので、立ち止まらずに移動しながら方探というより強度を見る。
TX5、4が強くBエリア、TX1,2,3は弱くCエリアと判断。



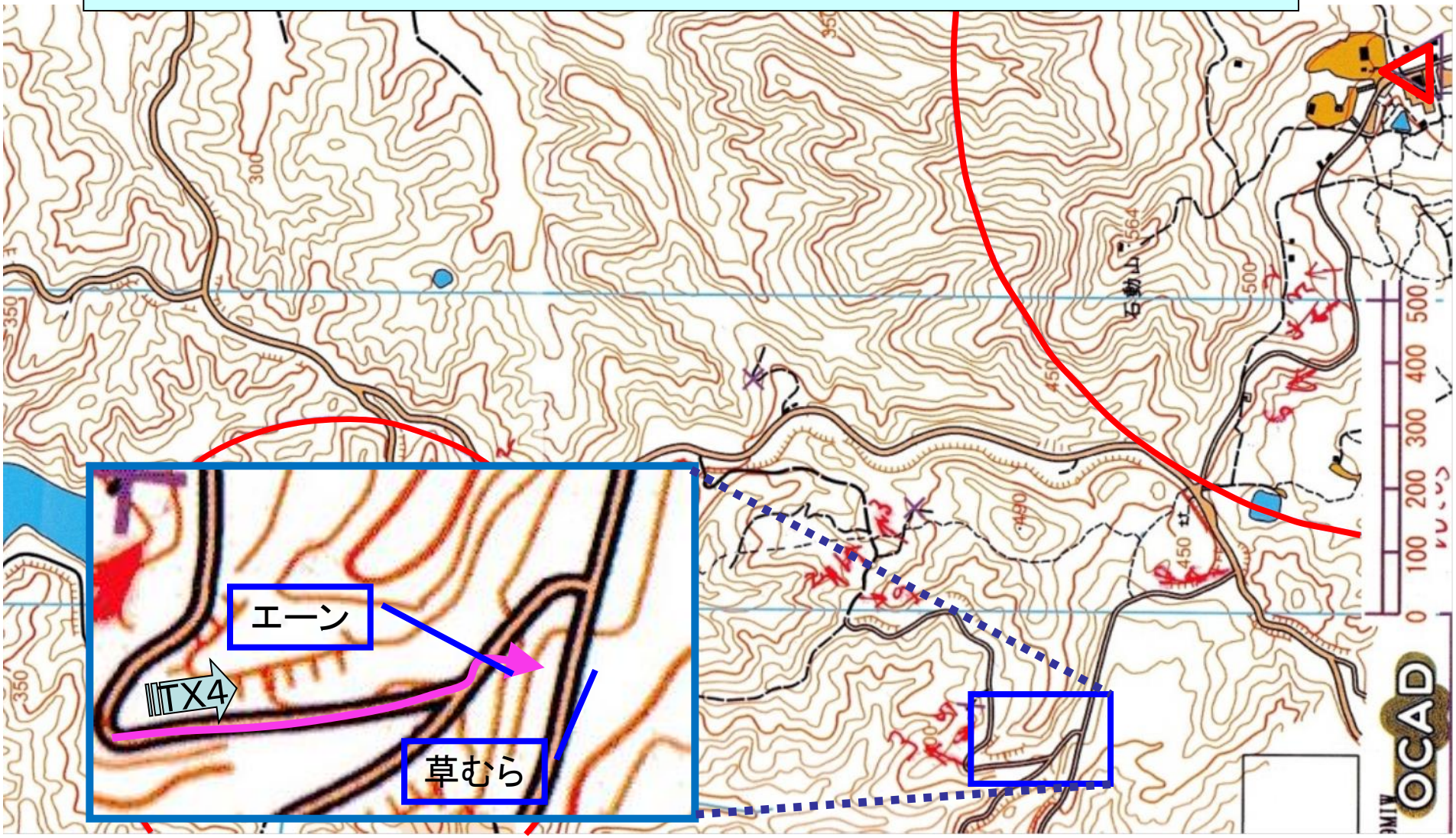
③スタート円端のT字路
750m円を出たところのT字路に人だかりがあり、正面の上り山道に人が出入りしている。ここなのか？しかし正面ならばもっと強いはず。人だかりに入るのが嫌だったので予定通りのコースを進む。



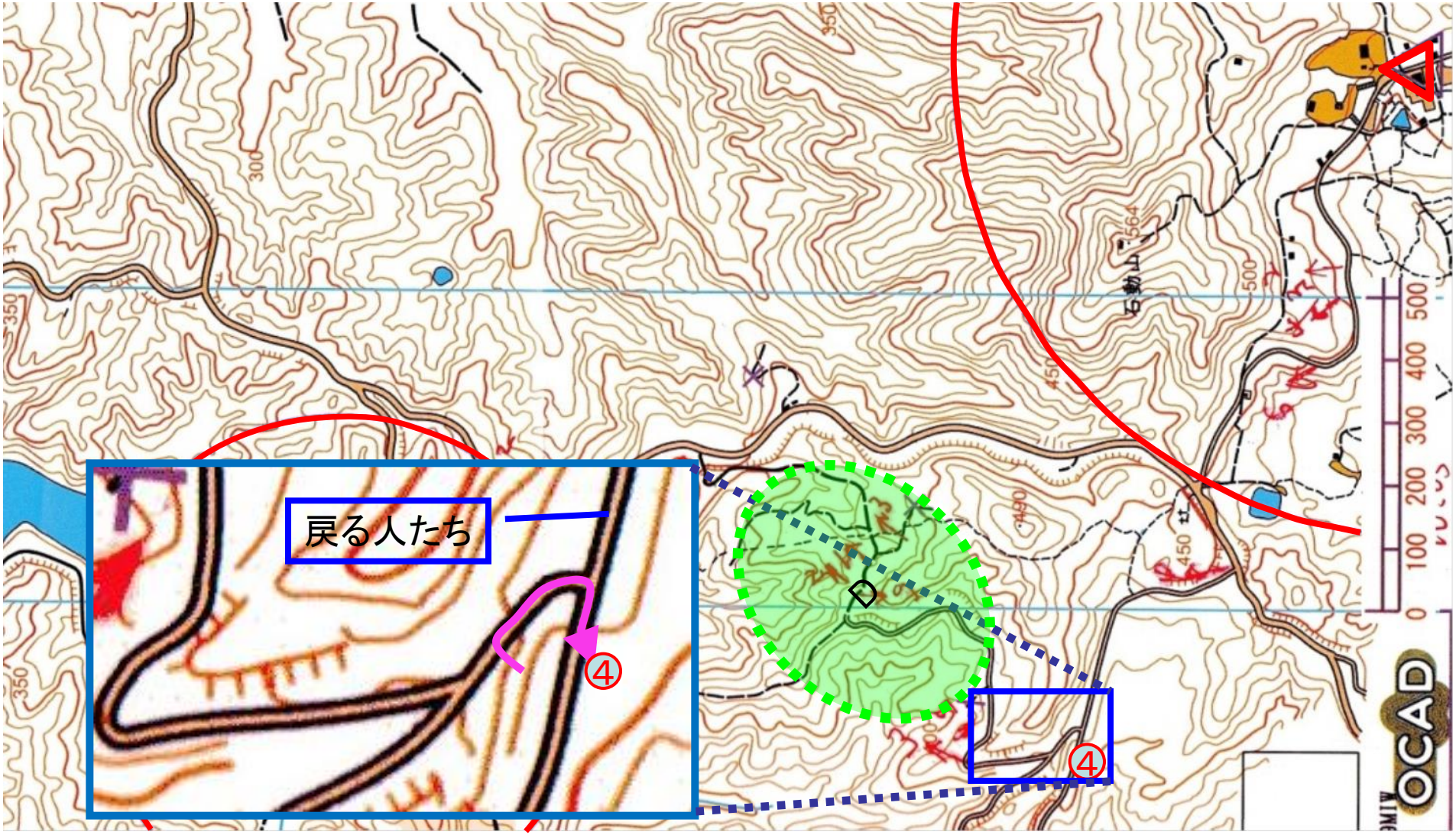
④下り坂
今回は5つ見つけなければならないので、時間的余裕はなく下り坂を小走りする。TX4が道沿い右側、TX5はなぜか遠くなってしまった（実は本当はこの段階でTX5を通り過ぎていた）。
TX4,5ともDエリアにあると判断し、崖のようなところからKさんが「エーン。無いー。」と降りてきたが、私はそのままDエリアへと進む。



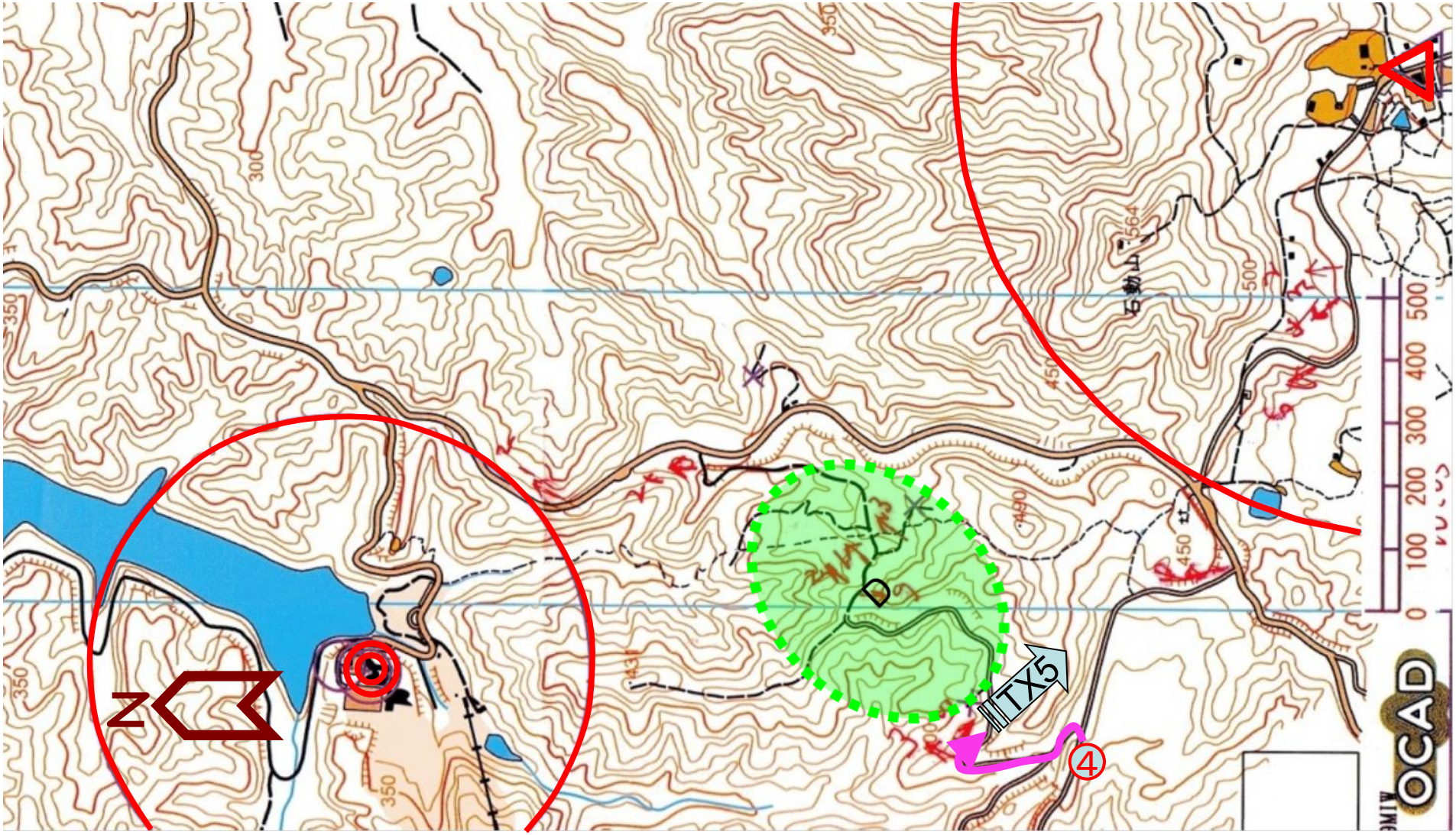
⑤やられた1
TX4が鳴く。「やられた！後ろではないか。」慌てて戻る。方向的にさきほどKさんが下りてきたところだ。そこに駆け上がるがTXはまだ先。これ以上は深い崖で行けない。崖下を見ると道があり、草むらに人が出入りしている。なんだここか。



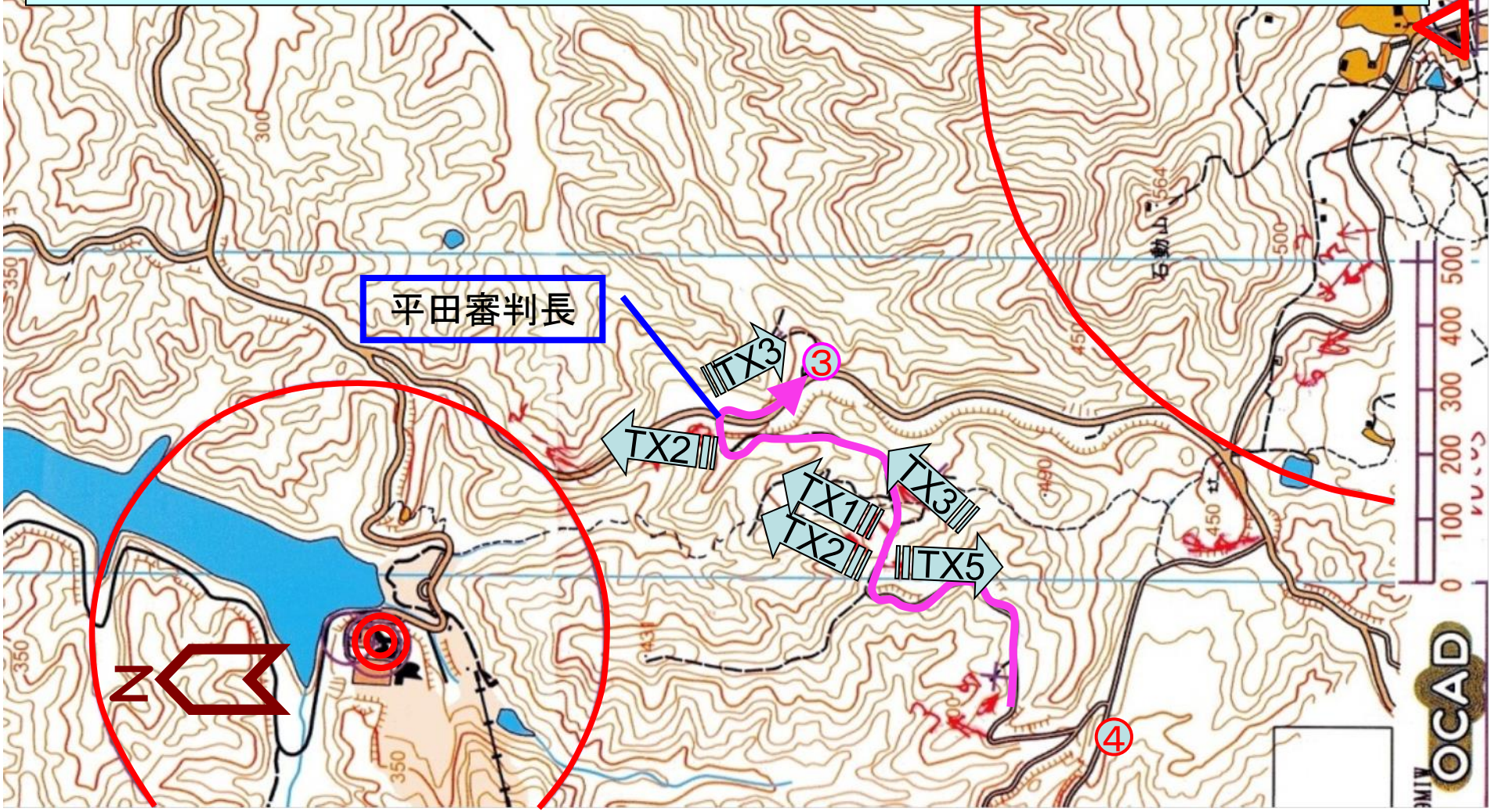
⑥TX4
道を降りていき、TX4ゲット。Dエリア方面へ戻ろうとすると、何人かの人がスタート方向へ戻っていくのが見える。なぜ？ここまで降りてきながらDエリアを捨てるのはもったいないのでは？



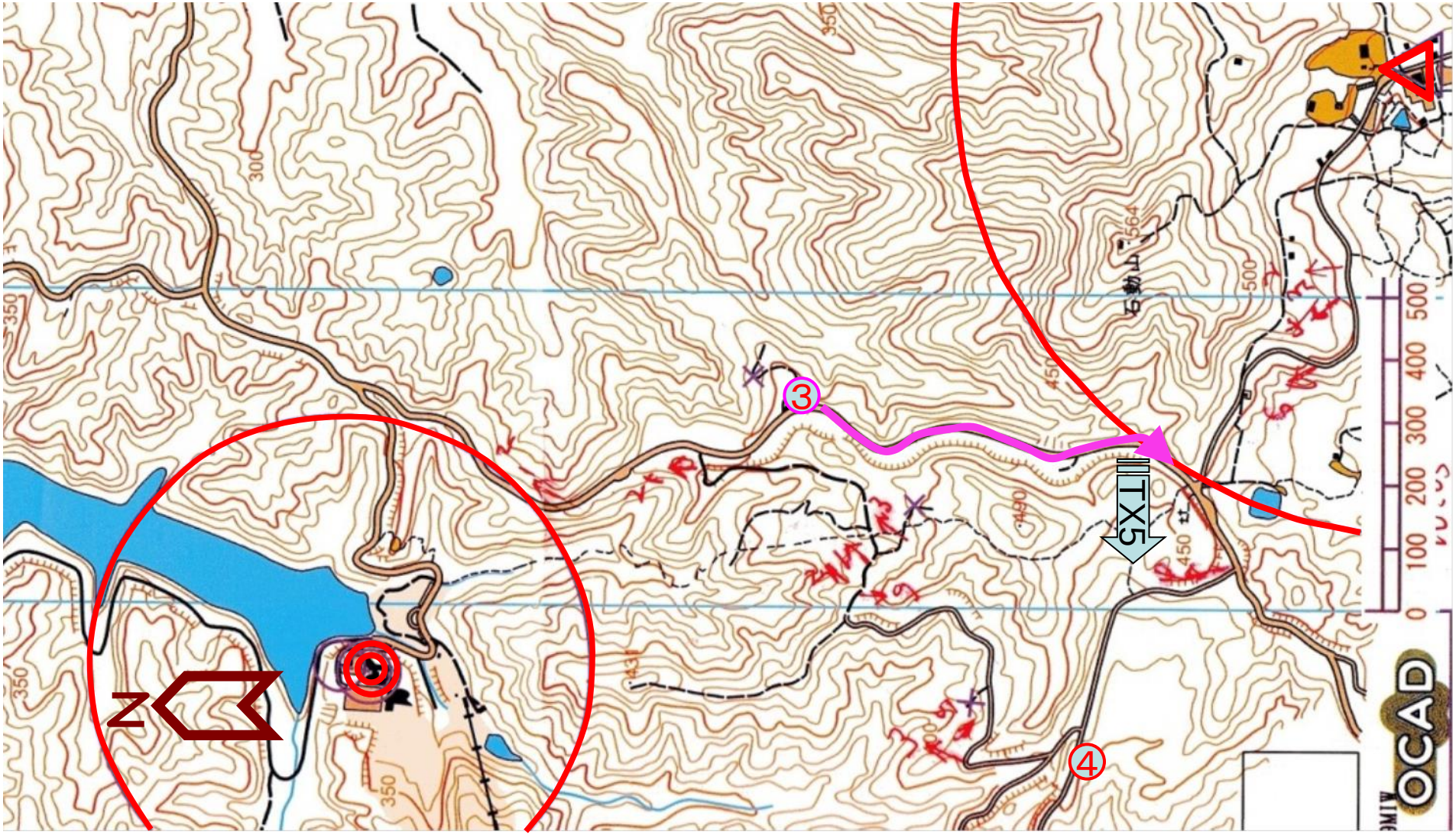
⑦やられた2
Dエリアへの道を進む。TX5が鳴く。「えっ、スタート方向？やられた！」
しかし、今更戻れない。



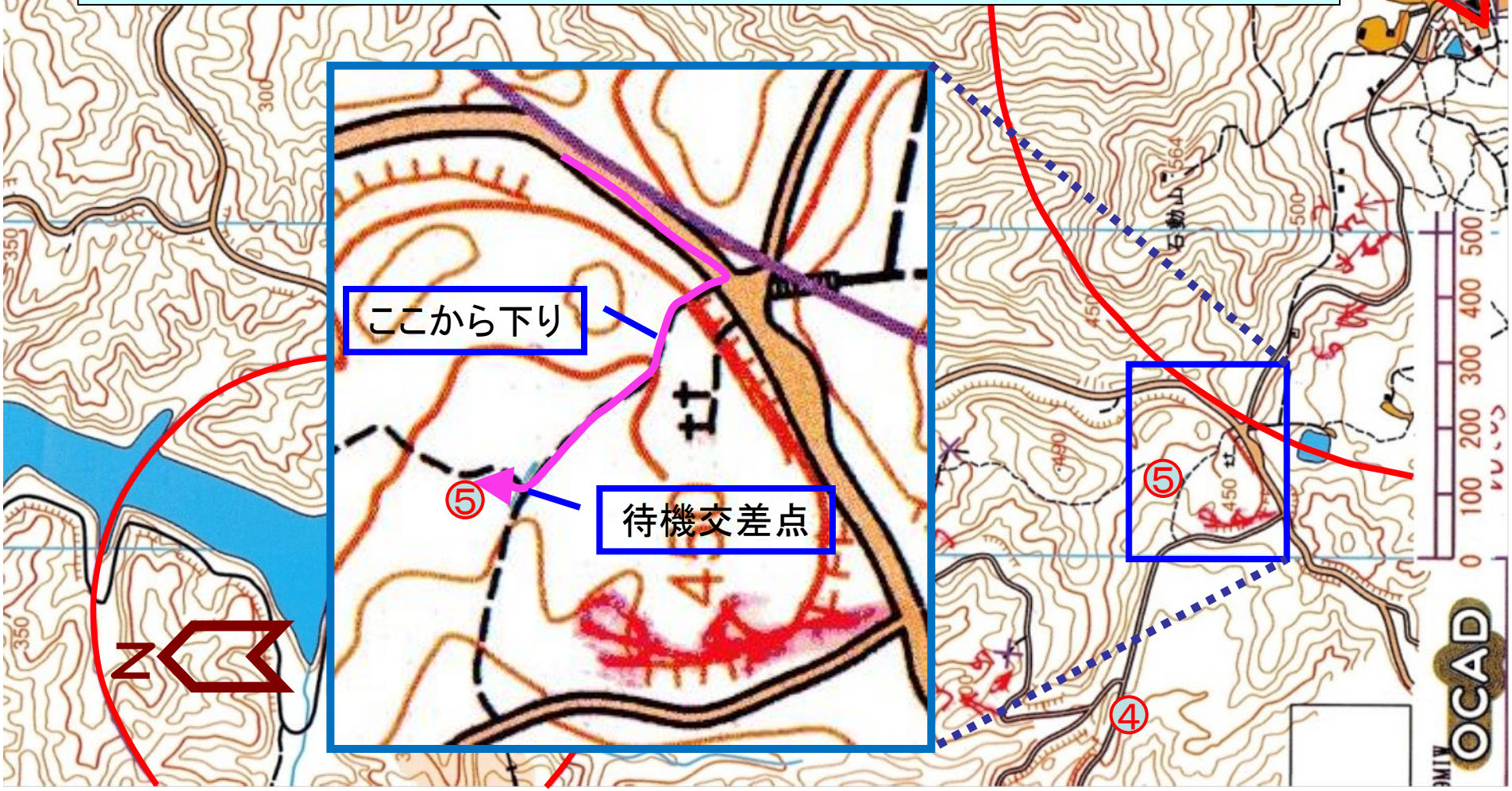
⑧TX3
TX5はあきらめなければならないかもしれないと思いつつ、付近にTX3があるのではと期待しつつ進むが、期待と裏腹に車道に出てしまった。平田審判長がニコニコしながらこちらを見ている。TX2はゴール方向を確認した。このまま審判長に監視されながらTX5までここで確認しなければならないのかと思っていた矢先、TX3が鳴く。近い。上のほう（TX5のほう）だったので、躊躇せず車道を駆け上る。走りこんでTX3ゲット。



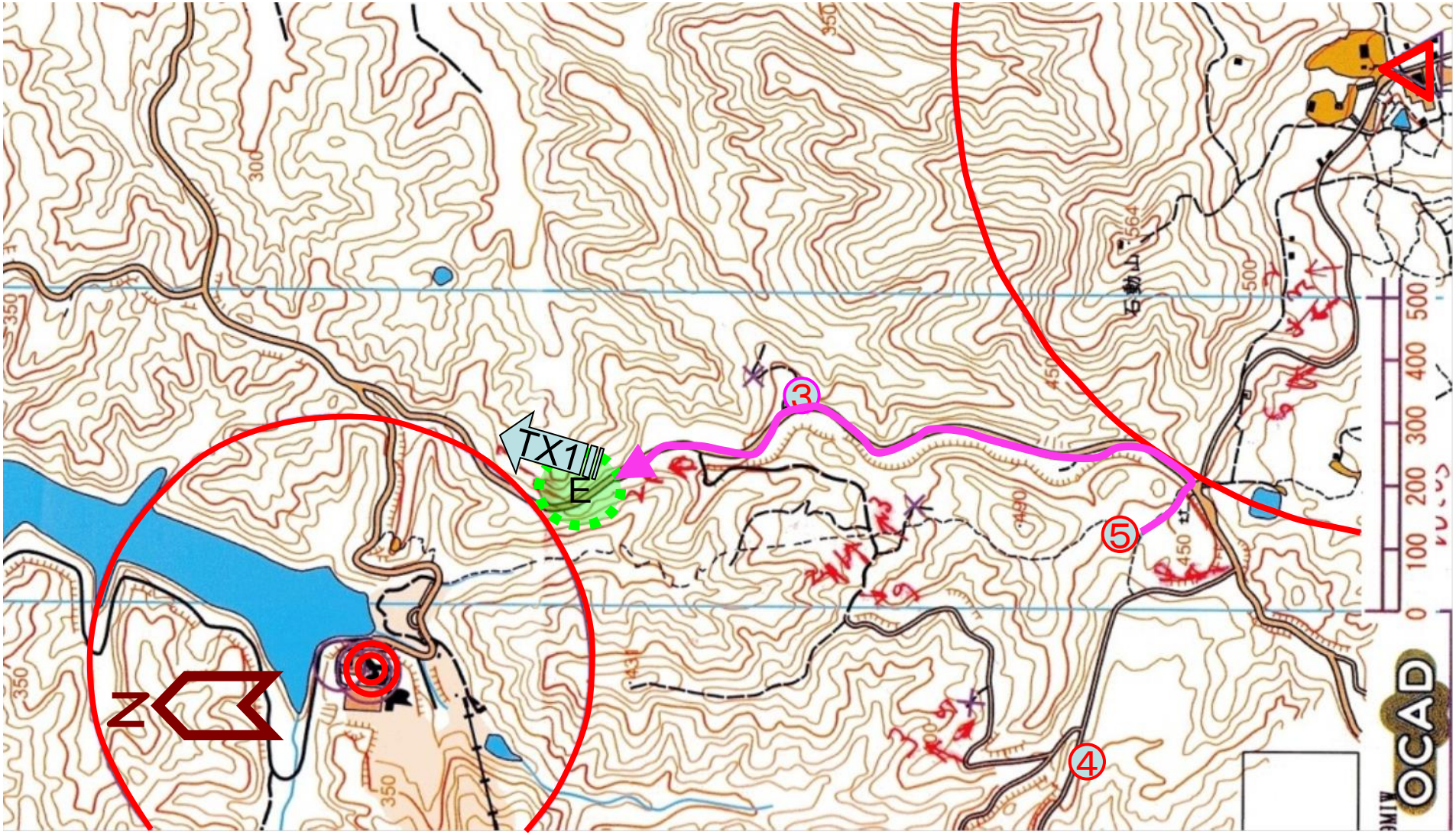
⑨長い上り坂
まだ、時間はありそうなので、TX5に向かうことにする。とぼとぼと8％の急坂を上っていく。巡回審判員とすれ違う。「なぜ今頃スタートに向かっているか」と思っているに違いない。周りには競技者は全く見えない。



⑩TX5
スタート円端のT字路につく。例の上り山道の脇に別の山道を見つける。地図からするとこちらの方が正しい山道のようだ。山道に入り進んでいくと次第に下り坂になった。そうか、TX5が弱かった原因がわかった。ヘイロー＋山越えパターンだ。注意深く交差点まできて、鳴くのを待つ。TX5が鳴いた。ゲット。

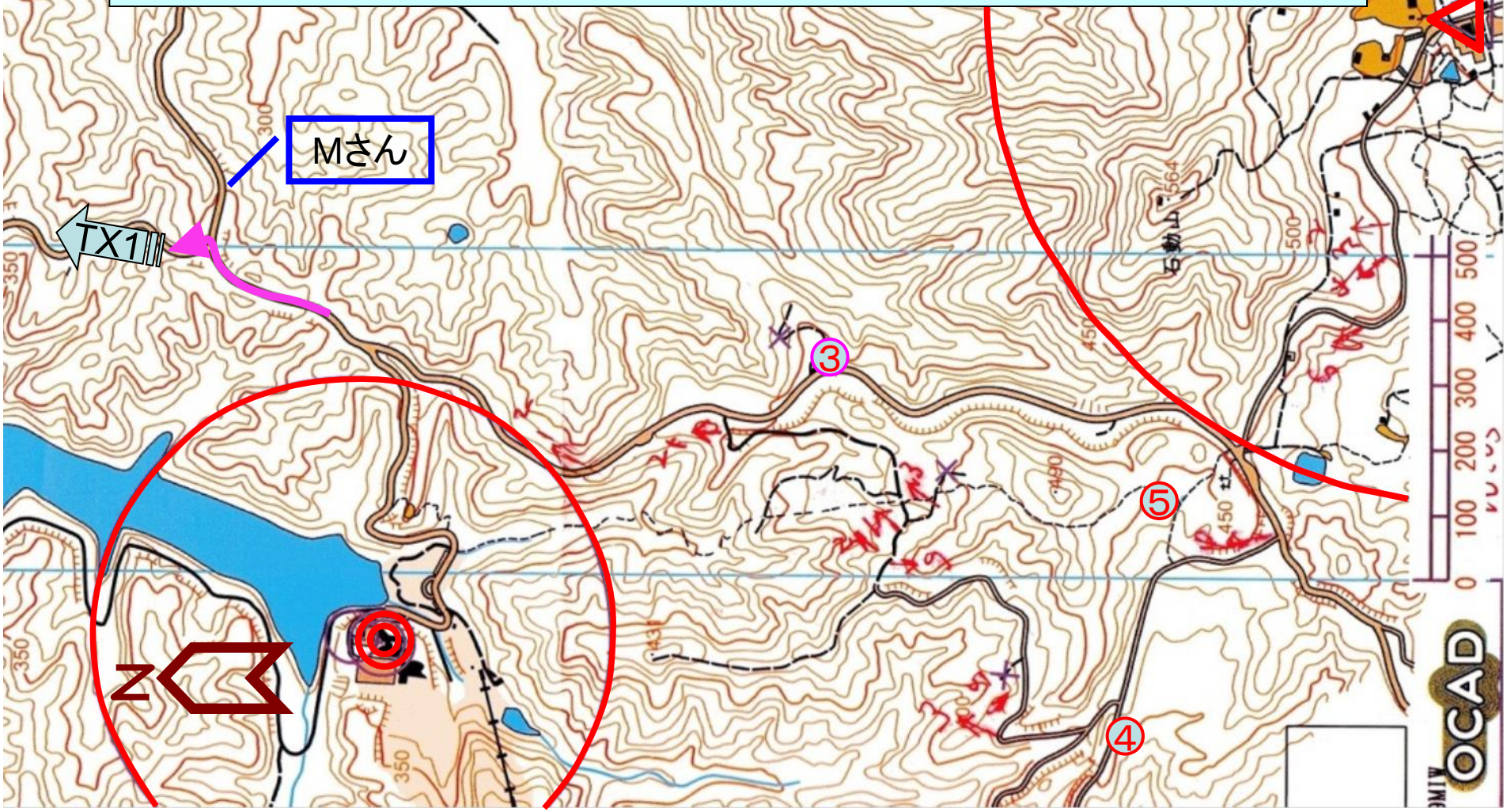


⑪坂道を下る
TX1,2を目指して車道を下る。TX2よりTX1が強く近そうだ。車道にはゴール円が重なっているので、TX3からの400mも併せて考えるとEエリアが非常に怪しい。しっかりと目視し、念のためTX1を待つ。TX1が鳴く。残念、まだ先だ。

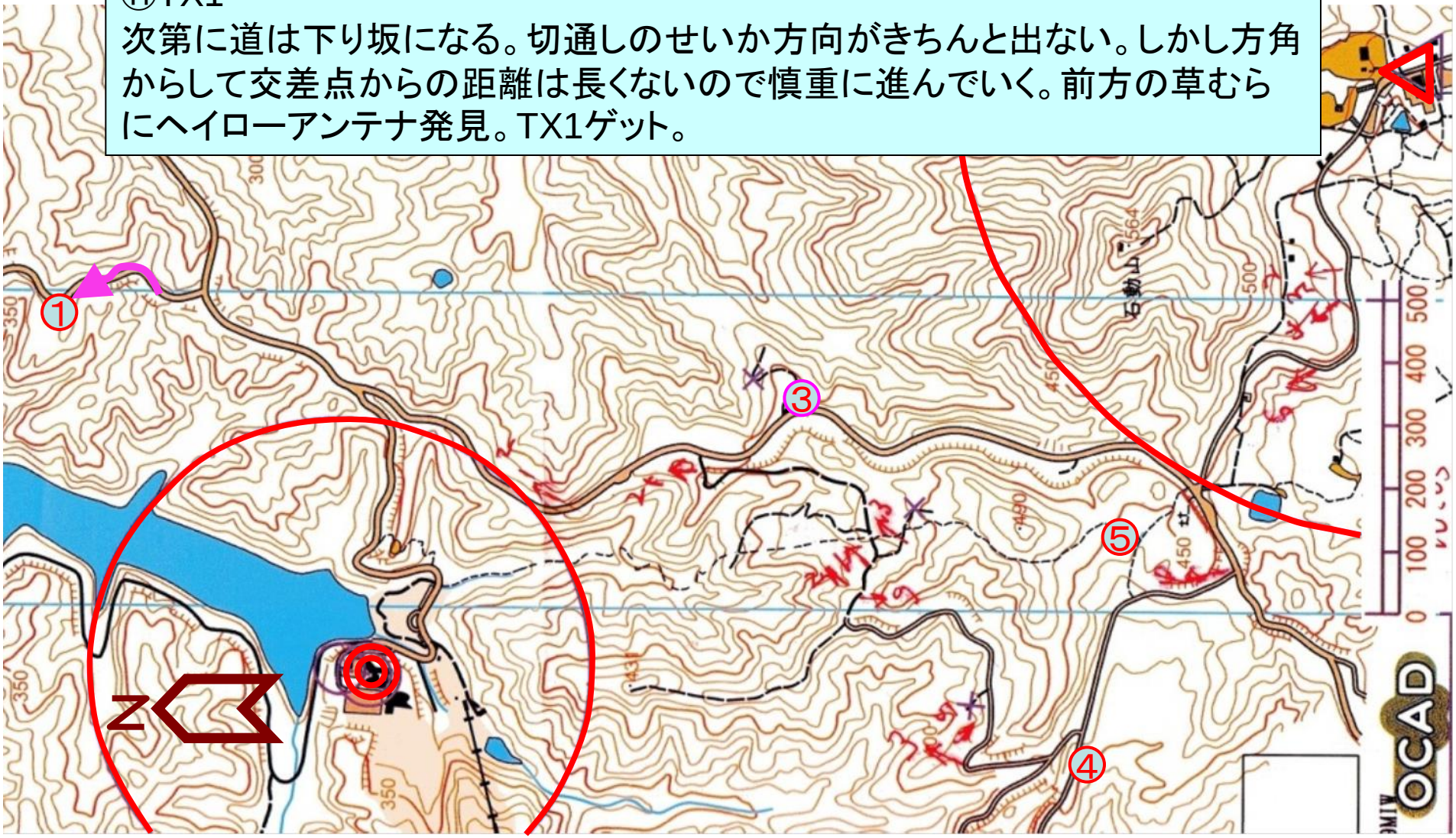


⑫コロサ入口
ゴールへと向かうコロサ入口のT字路に到着する。草むらにヘイローアンテナが見える。TX1はここか。距離的に見て湖を一周させることはないだろう。つまりゴールの時にもう一度ここにくるはずなのでゲットは後回しにする。TX1が鳴く。あれおかしい。まだ先だ。ということはさっきのはTX2。またしてもヘイロー＋山越えに騙された。

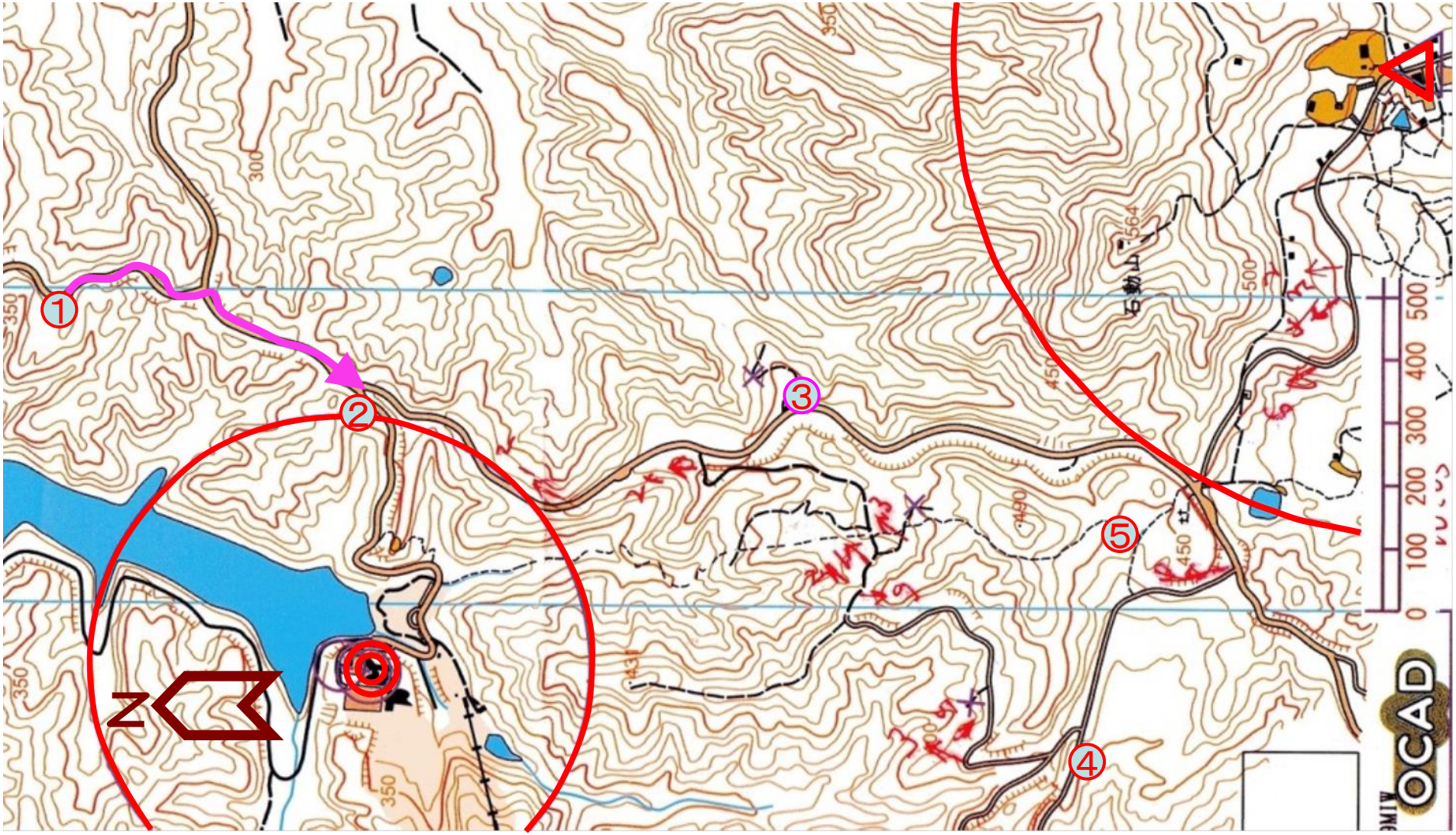
⑬湖方向の道
交差点に差し掛かる。交差点周辺を目視探索しながらTX1が鳴くのを待つ。Mさんはさらに先の下の方に降りて行っている。私はそこまでの勇気はない。
TX1が鳴く。湖の方向だ。坂道を上っていく。



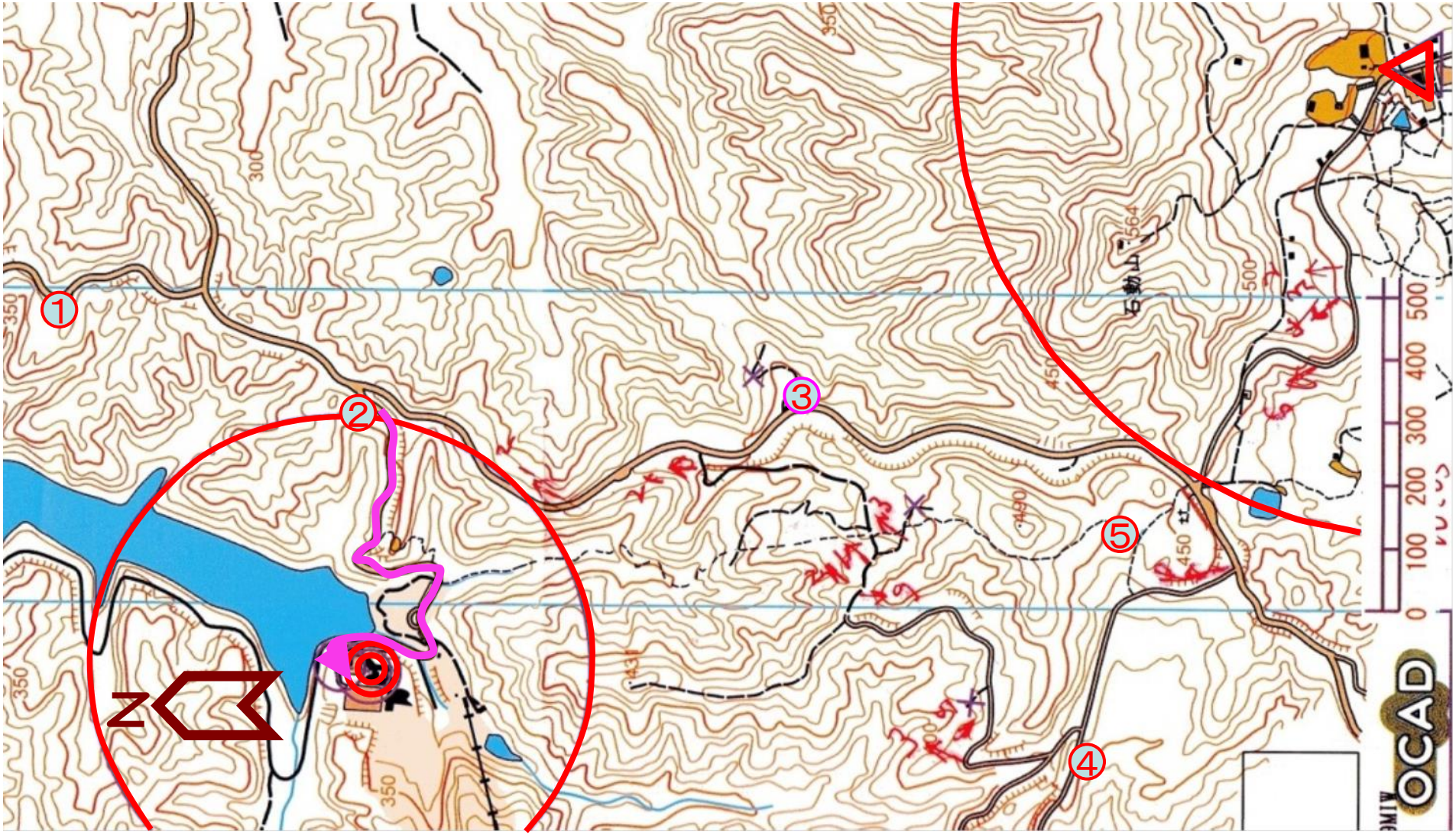
⑭TX1
次第に道は下り坂になる。切通しのせいか方向がきちんと出ない。しかし方角からして交差点からの距離は長くないので慎重に進んでいく。前方の草むらにヘイローアンテナ発見。TX1ゲット。



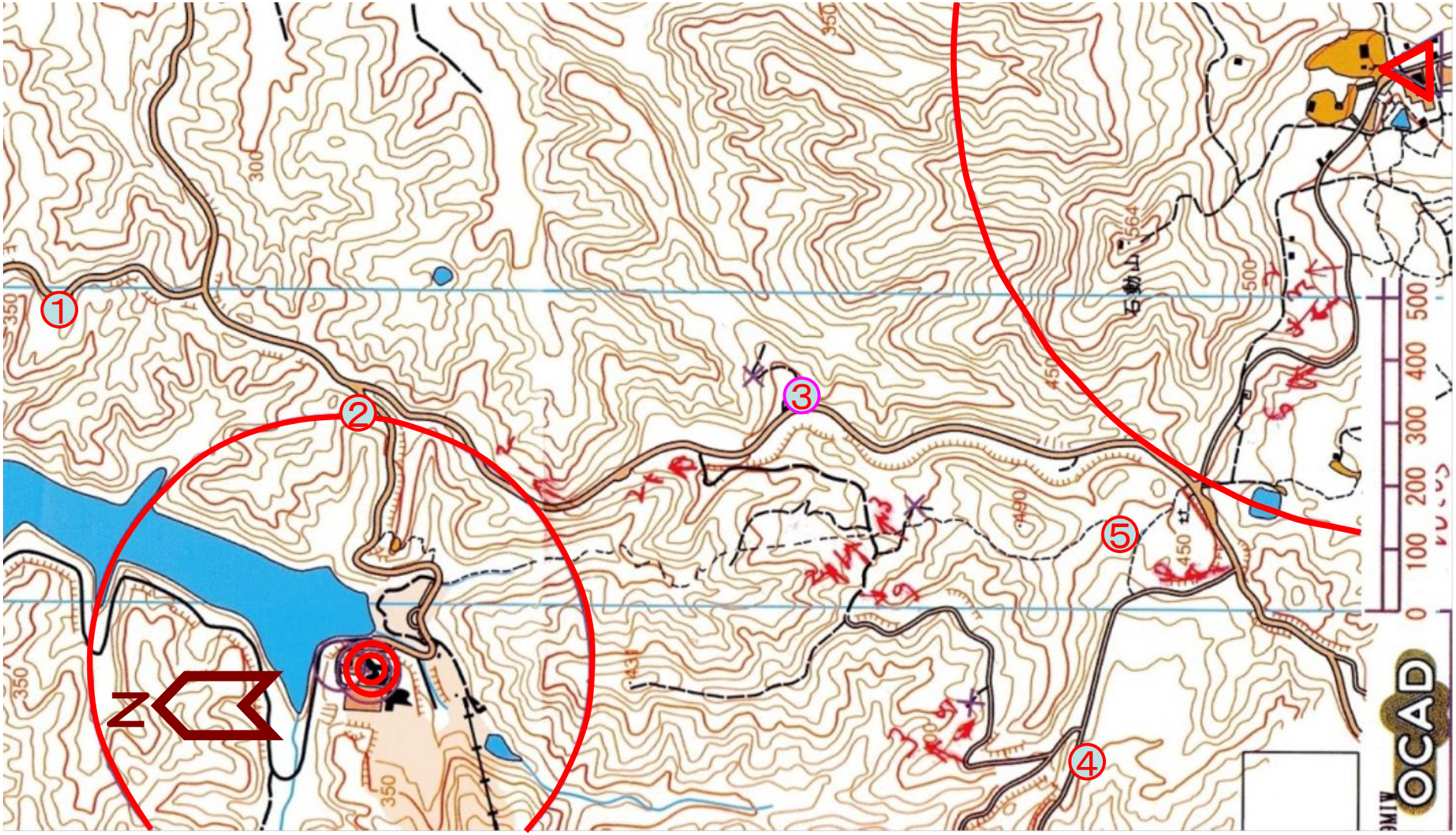
⑮TX2
コロサ入口のT字路に戻り、ANT目指してまっすぐに草むらを進む。TX2ゲット。



⑯ゴール
心臓破りの坂を上ってゴール。



おわり


①
②
③
④
⑤
N
石動山
564
300
350
431
450
490
500
0
100
200
300
400
500
OCAD

反省

◇いい気になって単に下り坂を駆け下りてしまったが敗因の一つ。その背景には、TXはその近辺にはないという思い込みがあった。ターゲットでなくても特に強いTXに関してはまじめに方探すべきであった。

◇もう一つはヘイロー＋山越えを見くびっていたこと。ヘイローはターンスタイルと異なり、水平方向への指向性が強いアンテナであり、山越えの場合は仰角が大きくなるため山越え回折波のパワーはターンスタイルのそれと比べて小さくなる。ヘイローの場合は、弱くても必ずしも遠いわけではないことを再認識した。